

Numark

MIXSTREAM PRO

クイックスタートガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしようしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support/

クイックスタートガイド

はじめに

同梱品

Mixstream Pro 本体

電源アダプター

USB ケーブル

Engine DJ ソフトウェアダウンロードカード

ディスプレイ用クリーニングクロス

クイックスタートガイド/保証書（本書）

重要： numark.com の Mixstream Pro 製品ページにアクセスし、フルバージョンのユーザーガイドをダウンロードしてください。

サポート

本製品に関する最新情報（システム要件、互換性情報など）および製品登録は numark.com をご参照ください。

サポート情報は numark.jp/support をご参照ください。

製品登録

Numarkサイトで製品登録を行うと専用ソフトウェア、キャンペーンなどがご利用できるようになります。

コンテンツにアクセスするには以下の手順に従って製品を登録してください。

1. numark.com にアクセスします。
2. **My Account** をクリックし既存のアカウントにアクセスするか、新規アカウントを作成します。
3. サインインが完了したら、**Register A Product** をクリックします。
4. 製品のシリアル番号を入力し、**Submit Registration** をクリックします。
5. 登録が完了すると、該当するソフトウェアのダウンロード、限定コンテンツ、キャンペーン情報などが表示されます。

セットアップ

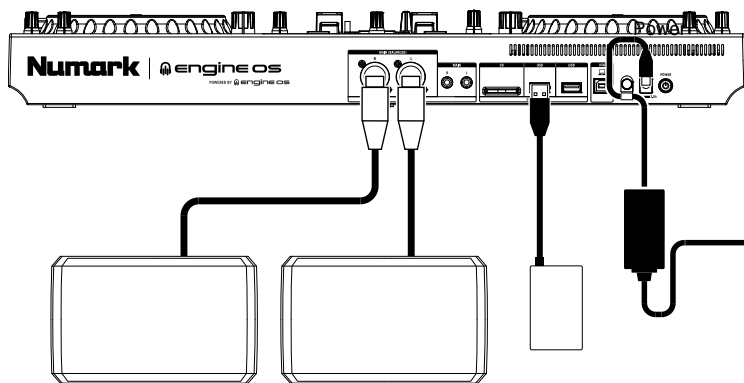
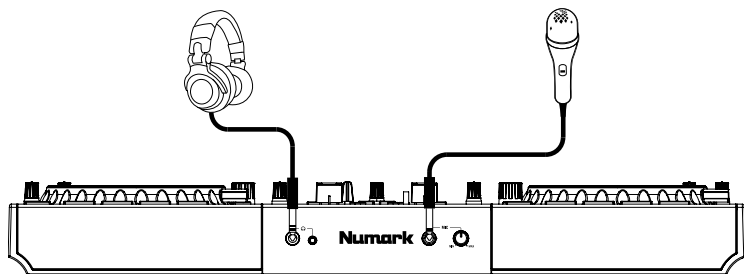
はじめに > **同梱品** a に記載がないものはすべて別売品です。

重要：Mixstream Pro のファームウェアは新機能と改善点を追加しアップデートされることがあります。特にファームウェアアップデートには新しいソフトウェア機能が追加されることもあります。定期的に numark.com にアクセスし、利用可能なファームウェアアップデートの有無をご確認ください。

1. numark.com にアクセスし、アカウントにログインします。（初めての Numark 製品の場合は、アカウントを作成します）。
2. アカウントにログインしたら、Engine Prime ファームウェアの最新バージョンをダウンロードしてインストールします。ダウンロードした exe ファイル形式 (Windows の場合) および dmg ファイル形式 (macOS の場合) のインストーラーを開き、画面の指示に従い Engine Prime ファームウェアをインストールします。
3. Mixstream Pro で使用する楽曲ファイルをご使用のメディアデバイスに移行します。
4. オーディオ入力ソース（マイク、CD プレイヤーなど）を Mixstream Pro に接続します。
5. オーディオ出力デバイス（ヘッドホン、パワーアンプ、スピーカーなど）を Mixstream Pro に接続します。
6. すべてのデバイスを電源コンセントに接続し、以下の順序でデバイスの電源を ON にします。
 - セッションを開始するときは、（1）入力ソース（2）Mixstream Pro（3）出力デバイスを ON にします。
 - セッションを終了するときは、（1）出力デバイス（2）Mixstream Pro（3）入力ソースを OFF にします。
7. **Engine OS** を使用し、Mixstream Pro をスタンドアローンとして使用するには：Engine Prime で作成した楽曲ライブラリーを含む USB ドライブおよび SD カードを本機の **USB ポート** および **SD カードスロット** に接続します。

ヘッドホン

マイク

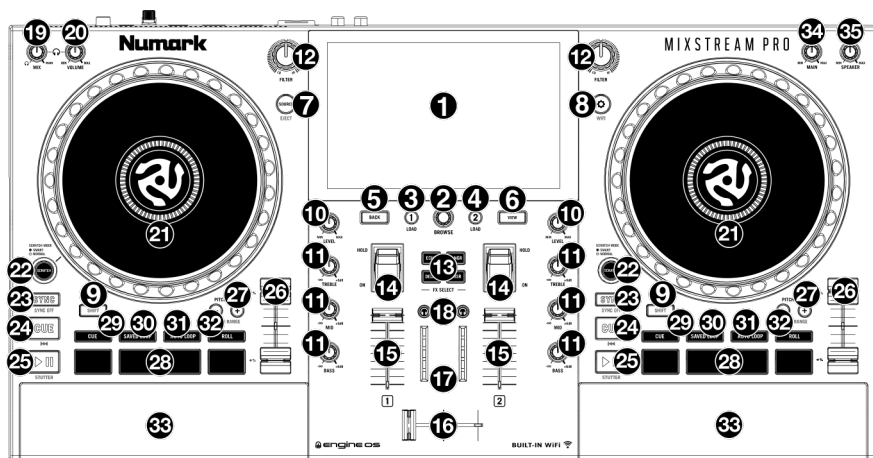


パワードスピーカー

USB ドライブ

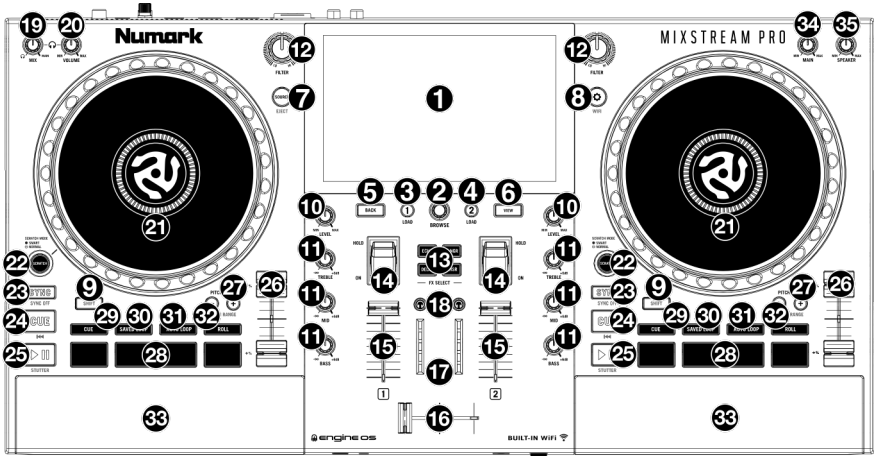
電源

トップパネル



- タッチスクリーン**：このフルカラーのマルチタッチ・ディスプレイは、Mixstream Proの現在の操作に関連する情報を表示します。ディスプレイをタッチし、ハードウェア・コントロールを使用してインターフェイスを操作します。
- BROWSE (ブラウズ) ノブ**：このノブを回し、リストをスクロールします。このノブを押すと、画面を次に進めたり、選択した楽曲をデッキにロードすることができます。
SHIFT を押しながらこのノブを押すと、選択したトラックを Prepare リストに送ることができます。
- LOAD◀ボタン**：選択中のトラックをデッキ 1 にロードします。
このボタンをすばやく 2 回押すと、デッキ 2 で再生中のトラックをデッキ 1 へ、インスタント・ダブルスを実行します。
- LOAD▶ボタン**：選択中のトラックをデッキ 2 にロードします。
このボタンをすばやく 2 回押すと、デッキ 1 で再生中のトラックをデッキ 2 へ、インスタント・ダブルスを実行します。
- BACK ボタン**：前の画面に戻ります。
- VIEW ボタン**：このボタンでライブラリビューとパフォーマンスビューを切り替えます。
SHIFT を押しながら VIEW ボタンを押すと、パフォーマンスモードでのオーディオ波形の水平/垂直表示が切り替わります。
- SOURCE/EJECT ボタン**：このボタンでソースメニューを開きます。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、接続されているメディアデバイスのリストがタッチスクリーンに表示されます。表示されたメディアソースの 1 つをタップすると、そのメディアデバイスと本機との接続が取り外されます (EJECT)。データの破損を防ぐため、メディアドライブは、物理的に本機から取り外す前に接続を取り外す必要があります。

8. **Utility/Preferences/WIFI ボタン**：このボタンでユーティリティ/プリファレンスメニューを開きます。詳しくは**ユーザーガイド**をご参照ください。
SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、Wi-Fi 設定メニューを開きます。
9. **SHIFT**：このボタンを押しながら別のボタンを押すと、各機能のサブ機能にアクセスすることができます。
10. **LEVEL ノブ**：各チャンネルのプリフェーダー/プリ EQ オーディオレベルを調節します。
11. **チャンネル EQ**：各チャンネルの高域/中域/低域周波数帯域を調整します。
12. **FILTER ノブ**：フィルターエフェクトを調整します。ノブを左に回すとローパスフィルターを、右に回すとハイパスフィルターをかけることができます。
13. **FX SELECT ボタン**：エフェクトを選択するボタンです。エフェクトは ECHO (エコー) DELAY (ディレイ) FLANGER (フランジャー) PHASER (フェーザー) の 4 つです。
14. **FX ON/OFF トグル**：トグルスイッチを押し上げると、エフェクトを ON の位置にラッチ (ロック) します。押し下げると、エフェクトが一時的に ON になります。トグルスイッチが中央の位置にある場合エフェクトは OFF になります。
15. **チャンネル・フェーダー**：各のチャンネルの音量を調節します。
16. **クロスフェーダー**：2 つのデッキ間のミックスバランスを調整します。
17. **MAIN OUT レベルメーター**：マスターに出力される音量を表示します。
18. **ヘッドホンプレビューボタン**：このボタンを押すと、そのチャンネルのオーディオをヘッドホンでプレビューすることができます。後述の MIX ノブを使い、キューチャンネルとプログラムミックスの音量バランスを調整します。
19. **ヘッドホン MIX 音量ノブ**：このノブを回し、キューチャンネルとプログラムミックスの音量バランスを調整します。
20. **ヘッドホン VOLUME (音量) ノブ**：ヘッドホンから聴こえるキューチャンネルの音量を調節します。
21. **プッター**：このタッチ・キャパシティブ・ジョグホイールに触ったり動かしたりすることで、オーディオをコントロールします。



22. **SCRATCH MODE ボタン**：このボタンを ON にすると、SMART スクラッチモードが使用できます。このモードでは、プлатターを使ってトラックをスクラッチしている間も、ディスプレイ上に表示されるオーディオ波形の下半分のタイムラインは進行し続けます。プлатターを離すと、トラックはスクラッチを止めた時点のタイムラインの再生ポイントから通常の再生を再開します。

SMART スクラッチモードが ON になっている状態で **SHIFT** を押しながらこのボタンを押すと、ジョグモードに切り替わります。このモードでは、プлатターをタッチして動かすことで、トラックのスピードを一時的に調整することができます。

このボタンを再度押すと、SMART スクラッチモードが **NORMAL** スクラッチモードに切り替わります。このモードでは、**プлатター**でトラックをレコード盤のようにスクラッチすることができます。

注意：デフォルトの設定では、SMART スクラッチモードは初めから ON になっています。この設定はプリファレンスメニュー (**Preferences**) で変更することができます。

SCRATCH MODE ボタンを押し続けると、グリッドエディットモードに切り替えることができます。

23. **SYNC/SYNC OFF ボタン**：このボタンを ON にすると、両デッキのテンポが自動的にシンクします。

SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、シンクが OFF になります。シンクを OFF にする設定は、プリファレンスメニューの **Sync Button Action** で設定することもできます。

24. **CUE/巻き戻しボタン**：再生停止中のトラックをプлатターでお好きな再生位置まで動かしこの **CUE ボタン**を押すと、一時的な CUE ポイントを設定することができます。

トラック再生中にこのボタンを押すことで、瞬時にこの一時的なキューポイントに戻ることができます（一時的なキューポイントが設定されていない場合は、トラックの先頭に戻ります）。

デッキの再生停止中に **CUE ボタン**を押し続けると、一時的なキューポイントからトラックが再生され、ボタンから指をはなすと再生が止まります（再生ヘッドもキューポイント開始地点に戻ります）。

また、デッキの再生停止中に **CUE ボタン**を押しながら**再生ボタン**を押し両方のボタンから指を離すと、キューポイントからそのままトラックの再生を続けることができます。

SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、トラックの開始地点から再生が開始されます。

25. **再生/停止/STUTTER ボタン**：メイン機能はトラックの再生/停止ボタンとして機能し
ます。

SHIFT を押しながらこのボタンを押すと、トラックは最初の CUE ポイントからス
タター再生されます。

26. **ピッチフェーダー**：デッキの再生スピードを調整します。

SHIFT を押しながら **PITCH BEND ボタン**のいずれかを押すと、このフェーダーで調整
するピッチレンジを変更することができます。

27. **PITCH BEND (-/+)** ボタン：このボタンのいずれかを押し続けると、トラックのス
ピードを一時的に変更することができます。

SHIFT を押しながらこのボタンのいずれかを押すと、**ピッチフェーダー**のピッチレン
ジを変更することができます。

28. **パフォーマンスパッド**：これらのデッキ毎に独立したパッドは、選択したパッドモ
ードにより異なる操作を行うことができます。詳しくは **詳しくはユーザーガイド**をご参照く
ださい。

29. **CUE ボタン**：このボタンを押すとパフォーマンスパッドが **CUE モード**になり、再度こ
のボタンを押すと CUE ポイントの 2 つ目のバンクにアクセスできる状態になります。
パフォーマンスパッドに CUE ポイントをアサインするには、CUE モード中にトラック
のお好きな再生位置で任意のパッドを押します。**SHIFT** を押しながら CUE ポイントの
アサインされたパッドを押すと、そのパッドの CUE ポイントは削除されます。

30. **SAVED LOOP ボタン**：このボタンを押すとパフォーマンスパッドが**セーブド・ループ
モード**になり、再度このボタンを押すとセーブド・ループの 2 つ目のバンクにアクセス
できる状態になります。セーブド・ループモードでは、トラックのお好きな再生位置（ル
ープのスタートポイントにしたい位置）で任意のパッドを押し、ループのエンドポイント
にしたい位置で再度同じパッドを押すと、即座にループ再生が開始します。設定したループ
再生の ON/OFF を切り替えるには、ループをアサインしたパッドをタップします。
SHIFT を押しながらループのアサインされたパッドを押すと、そのパッドのセーブド・
ループは削除されます。

31. **AUTO LOOP ボタン**：このボタンを押すとパフォーマンスパッドが**オート・ループモ
ード**になり、再度このボタンを押すとオート・ループの長さの設定の 2 つ目のバンクにア
クセスできる状態になります。オート・ループモードでは、それぞれのパッドで異なる長
さのオート・ループを設定することができます。変更オート・ループ再生の ON/OFF を
切り替えるには、希望のループの長さのパッドをタップします。

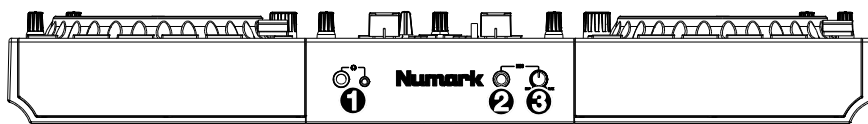
32. **ROLL ボタン**：このボタンを押すとパフォーマンスパッドが**ロール・モード**になり、再
度このボタンを押すとロールの長さの設定の 2 つ目のバンクにアクセスできる状態にな
ります。ロールモードでは、それぞれのパッドで異なる長さのロールをトリガーするこ
とができます。ロールをトリガーするには、希望のロールの長さのパッドをタップします。

33. **スピーカー**：再生中のオーディオが出力されます。スピーカーの音量は、**SPEAKER ノ
ブ**で調整することができます。

34. **SPEAKER 音量ノブ**：このノブでスピーカーの音量を調整します。

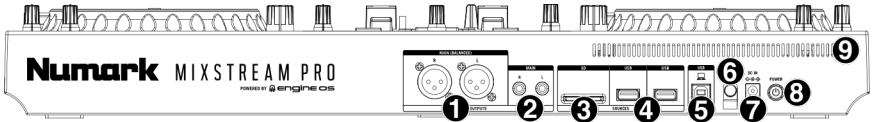
35. **MAIN 音量ノブ**：MAIN OUT（マスター）に出力される音量を表示します。

フロントパネル



1. **ヘッドホン出力端子 x2**：この出力をステレオミニジャック・ヘッドホン (3.5 mm) および標準 Phone ヘッドホン (6.35 mm) と接続します。ヘッドホンから聴こえるキューチャンネルの音量は、**ヘッドホン VOLUME ノブ** で調節します。
2. **MIC 入力端子 (6.35 mm)**：標準のダイナミックマイクケーブル (別売り) を接続します。
3. **MIC 音量ノブ**：このノブで MIC 入力からの音量を調整します。MIC 入力からのシグナルレベルやルーティングはユーティリティ (Utility) メニューで設定することができます。

リアパネル



1. **Main Out (バランス、XLR)**：ラウドスピーカーまたはアンプ・システムに接続します。トップパネルの **MAIN 音量ノブ** で音量を調節します。
2. **Main Out (アンバランス、RCA)**：ラウドスピーカーまたはアンプ・システムに接続します。トップパネルの **MAIN 音量ノブ** で音量を調節します。
3. **SD カードスロット**：標準の SD カードを挿入します。タッチスクリーンを使って SD カード内のトラックを選択してロードすることができます。
4. **USB-A ポート**：標準の USB ケーブルを使用して、この USB ポートと USB ドライブを接続します。USB ドライブをメディアソースとして選択すれば、タッチスクリーンを使って USB ドライブ内のトラックを選択してロードすることができます。また、パソコン用の USB 有線キーボードをこのポートに接続すれば、ライブラリーでのキーワード検索が簡単に行うことができます。

注意：Mixstream Pro では未解析の楽曲を再生することができますが、Engine PRIME ソフトウェアを使用し、SD カードまたは USB フラッシュメモリー内のミュージックライブラリーを事前に解析して置くことで、機能が最大限に発揮されます。詳しくは、ユーザーガイドをご参照ください。

5. **USB-B ポート**：付属の USB ケーブルを使用して、この USB ポートとコンピュータを接続します。
6. **電源アダプター固定具**：電源アダプターケーブルを固定し、誤って抜けないようにします。
7. **DC IN/電源アダプター入力端子**：付属の電源アダプターを接続して使用します。
8. **POWER (電源) ボタン**：このボタンを押して、本機の電源を入れます。本機の電源は、すべての入力機器を **あらかじめ** 接続し、アンプやスピーカーの **電源を入れる前に** ON にしてください。
Mixstream Pro を OFF にする場合、このボタンを押してタッチスクリーンの指示に従います。電源を OFF にする際には、**あらかじめ** アンプとスピーカーの電源を OFF にしてから本機を OFF にしてください。
9. **通気口**：本機使用時には、この通気口が塞がれていないようにしてください。

SYNC 機能を使用したミキシング

Mixstream ProのSYNC機能を使用したミキシングの一例

- 楽曲トラックを含むUSBドライブもしくはSDカードをリアパネルに接続します。Mixstream Proに内蔵されたでもトラックを使用することも可能です。


- LEVELノブとチャンネルEQは12時の位置に設定しておきます。これらのノブはトラックのロード後に調整できます。


- SOURCEボタンを押し、ソースメニューからメディアデバイスやストリーミングサービスを選択します。


- VIEWボタンを押し、ライブラリービュー (Library view) を開きます。


- BROWSEノブを回し、楽曲ライブラリーを選択します。


- Load◀ボタンとLoad▶ボタンを押し、BPMの近いトラックをデッキ1と2にロードします。


- クロスフェーダーを左側に切ると、デッキ1で再生するトラックのみがMAIN OUTから出力されるようになります。


- デッキ1の再生/停止ボタンを押し、再生を開始します。


- デッキ1のチャンネルフェーダーを上げると、トラックがスピーカーから聴こえるようになります。



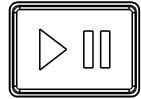
10. デッキ2のトラックを再生してヘッドホンでプレビューします。デッキ1の**SYNCボタン**を押すと、デッキ1のトラックのBPMがマスターBPMに設定されます。



11. デッキ2の**ヘッドホンプレビューボタン**を押します。



12. デッキ2のトラックを再生してヘッドホンでプレビューします。



13. **ヘッドホンVolume (音量) ノブ**でヘッドホンから聞こえるキューチャンネルの音量を調節します。**ヘッドホンMix音量ノブ**を調整すれば、デッキ1と2のトラックのミックスをプレビューすることができます。



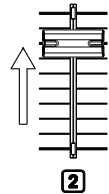
14. デッキ2の**SYNCボタン**を押すと、トラックのBPMをデッキ1のトラックと合わせることができます。



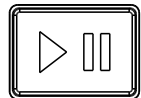
15. 再生中に任意のデッキの**CUEボタン**を押すと、トラックの頭出し（曲のスタートポイントから再生する）をすることができます。



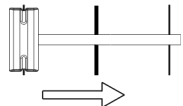
16. デッキ2の**チャンネルフェーダー**を上げると、トラックがスピーカーから聞こえるようになります。



17. デッキ2のトラックを再生します。



18. **クロスフェーダー**を左から右にゆっくり動かし、デッキ1のトラックからデッキ2のトラックにミックスしながら切り替えます。



ミキシングは基本この作業の繰り返しです。

付録

技術仕様

Main Outputs		
Frequency Response	20 Hz – 20 kHz +/- 1 dB	
Dynamic Range	> 114 dB (A-weighted)	
Signal-to-Noise Ratio	> 94 dB (A-weighted)	
Headroom	Mic	> 16 dB
	Outputs	> 16 dB
Channel Separation	< -110 dB (1 kHz, unity)	
T.H.D.	Line	< 0.01% (1 kHz, unity)
	Microphone	< 0.05% (1 kHz, unity)
Speakers		
Frequency Response	20 Hz – 20 kHz +/- 1 dB	
General		
Analog Input	Microphone	-40 dBu (unity)
		-60 dBu (minimum)
Analog Output	Master, Balanced	+20 dBu (maximum) +4 dBu (unity)
	Master, Unbalanced	+16 dBu (maximum) 0 dBu (unity)
	Headphone Output	< 30 mW
Connections	Audio Outputs	2 XLR outputs (main left/right, balanced) 1 RCA output pair (main left/right, unbalanced) 1 1/4" (6.35 mm) stereo output (headphones) 1 1/8" (3.5 mm) stereo output (headphones)
	Audio Inputs	1 1/4" (6.35 mm) microphone input
	Other	2 USB port (for USB drives) 1 USB port (to computer) 1 SD card slot 1 power adapter input
Power	Connection:	DC, Center Positive
	Voltage:	12.0 V 3.0 A
Dimensions (W x D x H)	566 x 284 x 74 mm	
Weight	3.68 kg	

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

商標とライセンス

Numark は inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

macOS は、Apple Inc の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

他のすべての製品名、会社名、商標、または商号は、それぞれの所有者のもです。